

平成 18 年「証券投資の日」記念イベント 参加者アンケートの集計結果

平成 18 年 11 月  
証券知識普及プロジェクト

証券知識普及プロジェクト(東京証券取引所、投資信託協会、ジャスダック証券取引所、本協会等の団体で構成)では、平成 18 年 9 月 30 日から 10 月 29 日までの間、平成 18 年「証券投資の日」記念イベントを、全国 10 地区 27 会場で開催し、9,300 名の参加があった(9,907 人)。アンケートの配付枚数は 9,006 枚(注)、アンケートへの回答者は 5,999 名で、回収率は 67%であった。

(( )内は、昨年の「証券投資の日」記念イベント、以下同じ)

アンケート結果の概要は、以下の通りである。

- 女性の参加者は、全体の 27%であった(29%)。
- 年齢層別では、60 代以上が 61%を占めた(54%)。
- 職業別では、会社員が 19%(24%)、無職 44%(39%)、主婦が 15%(16%)である。
- 証券投資の未経験者は 9%(13%)で、現在、証券投資を行っている人は 86%(80%)であった。  
現在、投資を行っていない人(証券投資の未経験者を含む)のうち 60%(62%)が、証券投資を行っていない理由として、「よくわからない(知識がない)」を挙げた。
- 証券投資を行っている人の 36%(38%)が、5 年未満の経験年数であった。
- 証券投資の理解を深める方法として、回答者の 85%(84%)が「講座やセミナーへの参加」を挙げた。
- 「金融商品取引法」、「株券の電子化」について「知っている」と答えたのは、それぞれ 37%、88%であった。

(単位: 名)

地区 イベント	平成 18 年「証券投資の日」			最近の参加者数	
	参加者数	回答者数	回収率	平成 18 年 春イベント	平成 17 年 「証券投資の日」
東京(7 会場)	2,877	1,759	61.1%	2,416	4,548
大阪(8 会場)	2,280	1,389	(注)69.9%	2,682	1,705
名古屋	788	471	59.8%	638	950
北海道	643	381	59.3%	360	506
東北	423	227	53.7%	185	413
新潟	391	300	76.7%	333	297
北陸	230	142	61.7%	300	170
中国(2 会場)	376	311	82.7%	358	354
四国(2 会場)	419	387	92.4%	261	342
九州(3 会場)	873	632	72.4%	287	622
合計	9,300	5,999	(注)66.6%	7,820	9,907

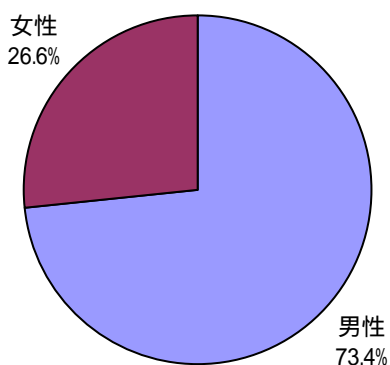
(注)大阪会場における小学生・中学生・大学生対象のセミナー(合計参加人数:294 名)ではアンケートを配付していないため、参加者数とアンケートの配付枚数は一致しない。

## 参加者属性について

### 【性別】

参加者の男女比については、男性が全体の 73.4%を占め、女性は 26.6%であった。昨年 10月の「証券投資の日」記念イベントに近い水準となった。

図 -1 性別 (回答者数:5,965名)

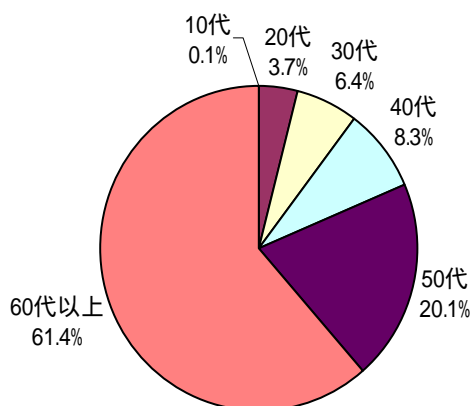


平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数:6,856名)	
男性	70.8%
女性	29.2%

### 【年齢】

イベント参加者の年齢構成については、60歳以上が61.4%と最も多い。昨年の「証券投資の日」との比較では、50代以下がそれぞれ若干減少した分、60代以上が増加した。年齢層別の女性比率は、下の表にみられる通り、前年と近い水準となった。

図 -2 年齢 (回答者数:5,963名)



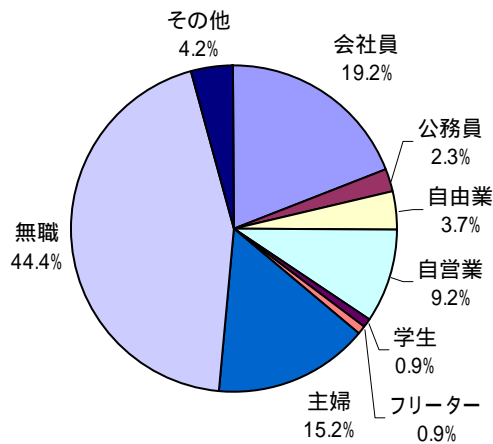
平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数:6,847名)	
10代	0.2%
20代	5.0%
30代	10.9%
40代	9.1%
50代	20.6%
60代以上	54.2%

女性比率		
年齢層	今回	前回
10代	28.6%	26.7%
20代	29.2%	36.2%
30代	36.7%	46.6%
40代	44.2%	46.7%
50代	39.6%	39.1%
60代以上	18.6%	18.3%

【職業】

全体では、「無職」が 44.4%と最も多く、次いで「会社員」19.2%、「主婦」15.2%の順であった。男女別にみると、男性参加者の 54.2%が「無職」、21.2%が「会社員」で、女性参加者の 56.1%が「主婦」、16.5%が「無職」である。

図 -3 職業 (回答者数:5,946名)

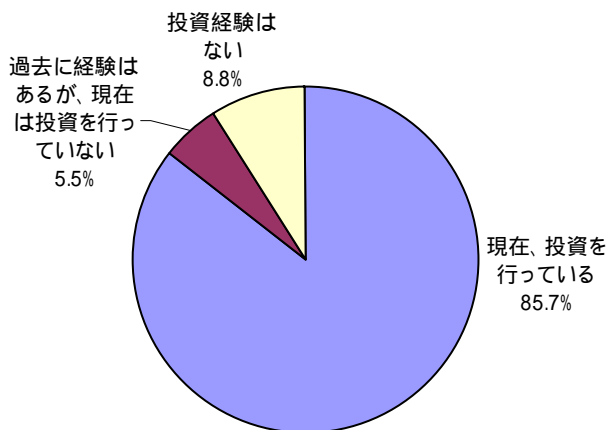


平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数:6,773 名)	
会社員	23.9%
公務員	1.8%
自由業	3.5%
自営業	9.7%
学生	1.3%
フリーター	1.1%
主婦	15.9%
無職	38.6%
その他	3.8%

【証券投資の経験】

回答者のうち証券投資の経験者は 91.2%、未経験者は 8.8%であった。男女別にみると、男性の 7.2%、女性の 12.8%が投資未経験者である。年齢層別の証券投資未経験者の比率は、下表のとおりである。

図 -7 証券投資の経験 (回答者数:5,874名)



平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数:6,622 名)	
投資を行っている	79.8%
過去に経験がある	7.3%
投資経験なし	12.9%

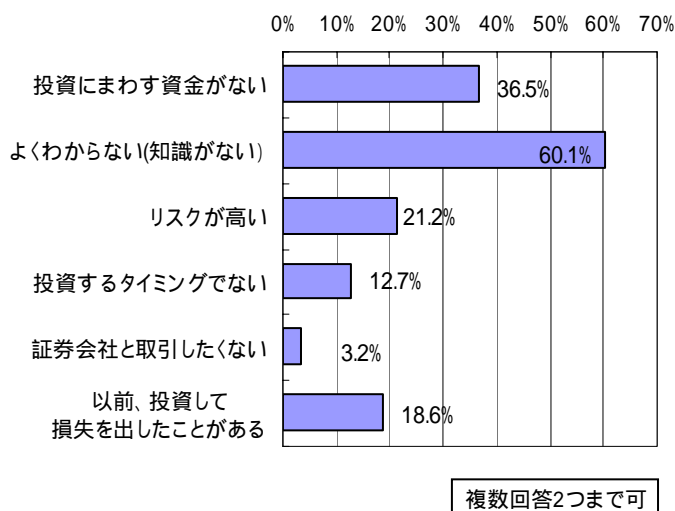
投資未経験者の比率		
年齢層	今回	前回
10代	42.9%	53.3%
20代	42.4%	53.5%
30代	21.5%	27.7%
40代	17.3%	15.5%
50代	8.8%	11.3%
60代以上	4.2%	5.2%

現在、証券投資を行っていない人(証券投資の未経験者を含む)について

【証券投資を行っていない理由】

現在、証券投資を行っていない人(証券投資の未経験者を含む)の60.1%が、証券投資を行っていない理由として、「よくわからない(知識がない)」を挙げた。

図 -1 「投資を行っていない」または「投資経験がない」理由  
(回答者数:808名 / 回答総数:1,231件)

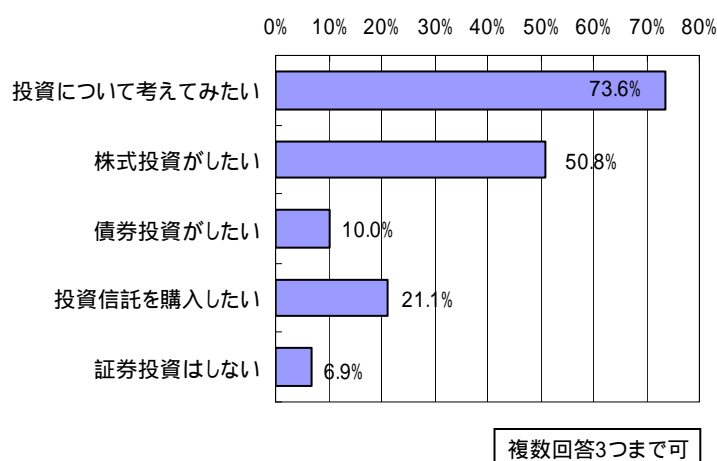


平成17年「証券投資の日」 (回答者数:1,375名)	
投資にまわす資金がない	34.6%
よくわからない(知識がない)	61.7%
リスクが高い	18.4%
投資するタイミングでない	13.8%
証券会社と取引したくない	3.0%
投資して損失を出したため	18.3%

【今後の証券投資について】

今後の証券投資についての考えを尋ねたところ、「証券投資はしない」と答えた人は、6.9%であった。

図 -2 今後の証券投資について  
(回答者数:773名 / 回答総数:1,255件)



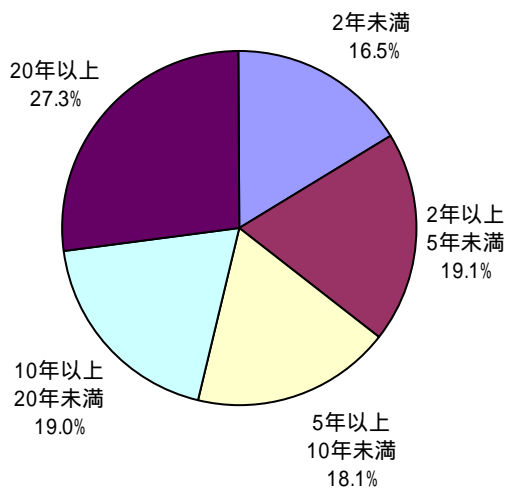
平成17年「証券投資の日」 (回答者数:1,557名)	
証券投資を考えてみたい	61.9%
株式投資がしたい	60.3%
債券投資がしたい	11.1%
投資信託を購入したい	22.7%
証券投資はしない	5.5%

現在、証券投資を行っている人について

【証券投資の経験年数】

証券投資の経験年数については、「5年未満」の経験年数の回答者が全体の35.6%であった。

図 -1 証券投資の経験年数(回答者数:5,036名)



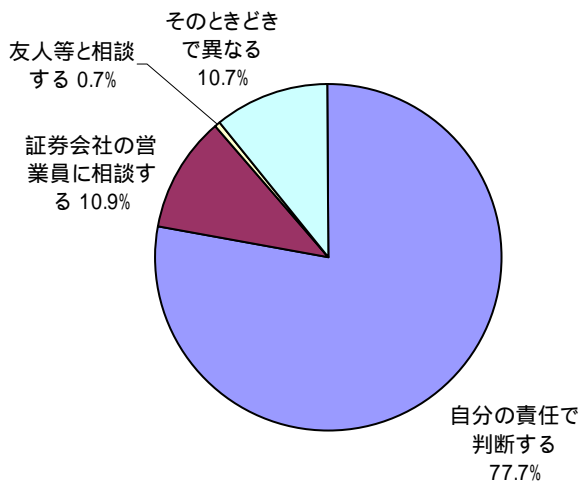
平成17年「証券投資の日」 (回答者数:5,533名)	
2年未満	17.5%
2年以上5年未満	20.5%
5年以上10年未満	20.4%
10年以上20年未満	17.0%
20年以上	24.5%

「5年未満」の経験年数の比率	
10代	50.0%
20代	86.2%
30代	67.4%
40代	54.1%
50代	44.8%
60代以上	25.5%

【投資判断】

投資判断については、「自分の責任で判断」との回答が77.7%で、「証券会社の営業員に相談」との回答は、10.9%であった。

図 -2 投資判断について(回答者数:5,000名)



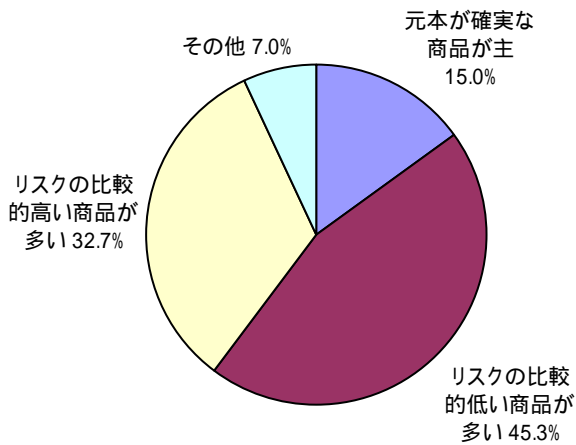
平成17年「証券投資の日」 (回答者数:5,506名)	
自分の責任で判断	74.7%
証券会社営業員に相談	11.5%
友人等と相談	1.4%
そのときどきで異なる	12.3%

【投資対象】

投資対象については、「リスクの比較的低い商品が多い」との答えた人が45.3%であった。

(注：平成17年の「証券投資の日」とは、問い方を変更したので比較できない。)

図 -3 投資対象について(回答者数:4,837名)

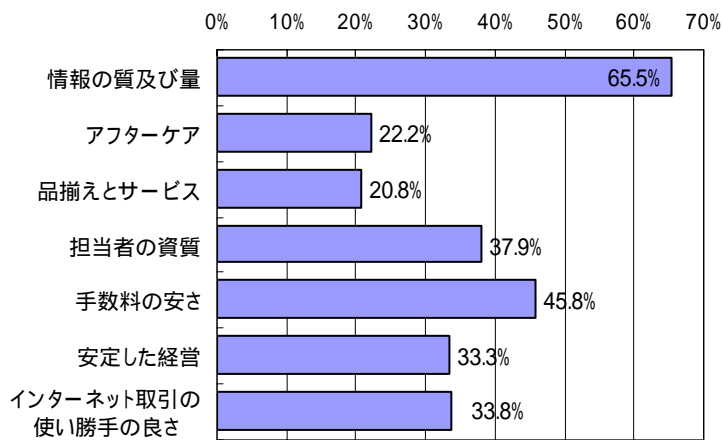


<参考> 平成17年「証券投資の日」 (回答者数:5,827名)	
元本が確実な商品	10.3%
リスクの比較的低い商品	24.1%
リスクの比較的高い商品	14.5%
の組合せ	51.1%

【証券会社を選択する基準】

証券会社を選択する基準に関しては、回答者の65.5%が、「情報の質及び量」を挙げた。また、45.8%の人が「手数料の安さ」を挙げ、「インターネット取引の使い勝手の良さ」は33.8%となり、前年度とほぼ同じ水準となった。

図 -4 証券会社を選択する基準  
(回答者数:4,861名 / 回答総数:12,602件)



平成17年「証券投資の日」 (回答者数:5,806名)	
情報の質および量	65.6%
アフターケア	21.7%
品揃えとサービス	21.2%
担当者の資質	37.8%
手数料の安さ	47.6%
安定した経営	32.9%
インターネット取引の使い勝手のよさ	33.4%

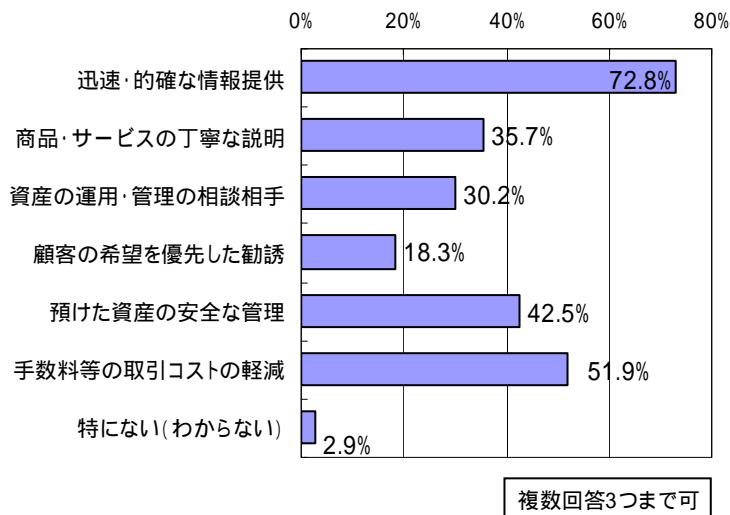
複数回答3つまで可

証券会社への期待と証券投資への理解を深めるための方法について

【証券会社に期待すること】

証券会社に期待することについては、回答者の 72.8%が「迅速・的確な情報提供」を挙げた。「手数料等取引コストの軽減」は 51.9%、「預けた資産の安全な管理」は 42.5%であった。

図 -1 証券会社に期待すること  
(回答者数: 5,709名 / 回答総数: 14,520件)

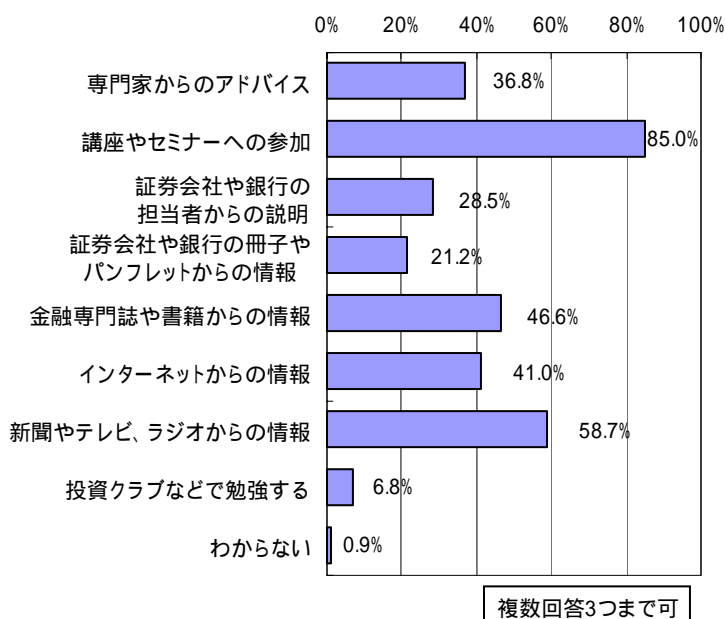


平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数: 6,514 名)	
迅速・的確な情報提供	72.8%
商品サービスの丁寧な説明	34.5%
資産の運用・管理の相談相手	29.6%
顧客の希望を優先した勧誘	18.8%
預けた資産の安全な管理	41.1%
手数料等の取引コストの軽減	55.0%
特にない(わからない)	2.9%

【証券投資の理解を深める方法】

証券投資の理解を深めるための方法としては、「講座やセミナーへの参加」を挙げた人が、回答者の 85.0%を占めた。

図 -2 証券投資について理解を深めるための方法  
(回答者数: 5,676名 / 回答総数: 18,478件)



平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数: 6,491 名)	
専門家からのアドバイス	38.0%
講座やセミナーへの参加	83.5%
証券会社や銀行の担当者からの説明	26.1%
証券会社や銀行の冊子パンフレットからの情報	19.7%
金融専門誌や書籍からの情報	45.6%
インターネットからの情報	45.0%
新聞やテレビ、ラジオからの情報	55.8%
投資クラブなどで勉強する	8.8%
わからない	1.0%

投資サービス法、証券税制などについて

【投資サービス法、上場会社の「株券電子化」について】

「投資サービス法」が今年の6月に「金融商品取引法」として成立したのをご存知ですか？」という質問については、36.7%が「はい」との回答であった(回答者数:5,609名)。現在投資を行っている人では、「はい」と答えたのは、37.9%である。

「上場会社の「株券電子化」が平成21(2009)年から実施されることを既にご存知でしたか？」については、88.0%が「はい」と答えた(回答者数:5,656名)。現在投資を行っている人のうち、「はい」と答えたのは、91.4%である。

【証券税制について】

「上場株式等の譲渡益課税の軽減の時限措置が、平成19年12月末までであることをご存知ですか？」については、70.3%が「はい」との回答であった(回答者数:5,669名)。投資を行っている人のうち、「はい」と回答したのは75.3%である。

「上場株式等の配当課税の軽減の時限措置が、平成20年3月末までであることをご存知ですか？」については、62.3%が「はい」と答えた(回答者数:5,647名)。投資を行っている人のうち、「はい」と回答したのは、66.5%である。

図 -1~4 各種制度の認知状況【全体】

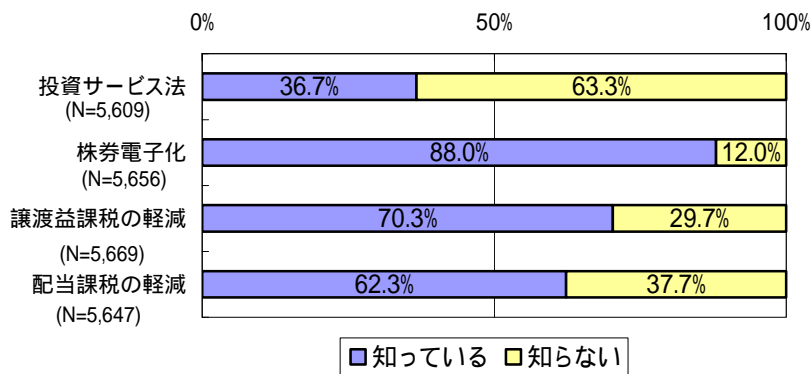
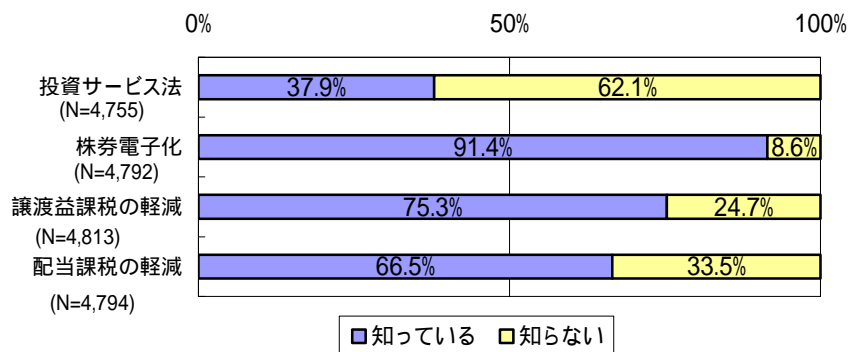


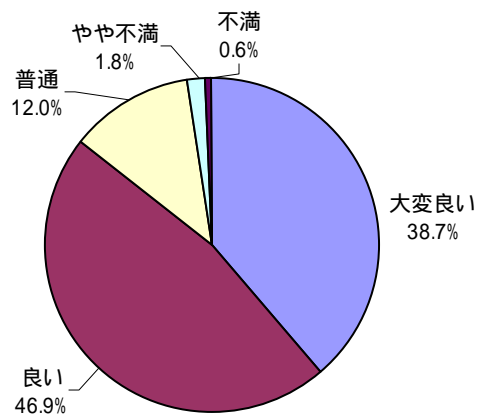
図 -1~4 各種制度の認知状況【証券投資を行っている人】



## 平成 18 年「証券投資の日」記念イベントについての感想

平成 18 年「証券投資の日」記念イベントに対するアンケート回答者の感想は、概ね好評であった。また、講師の選択やセミナーの内容などについて、1,100 件のコメントが回答者から寄せられた。

図 イベントの感想 (回答者数:5,260名)



平成 17 年「証券投資の日」 (回答者数:5,957名)	
大変良い	39.5%
良い	44.3%
普通	13.1%
やや不満	2.3%
不満	0.8%

以 上